

介護丸ごと IT! の推進 IoT による見守り支援サービスを販売開始 ～介護業務従事者の働き方改革に貢献～

インフォコム株式会社 (東京都渋谷区) は、株式会社 Z-Works (ジーワークス、東京都新宿区 代表取締役 共同経営者 小川 誠、代表取締役 共同経営者 高橋 達也) と共創し開発した IoT を活用した見守り支援サービスの販売を開始し、このたび業務品質の更なる向上を目指し一部業務の IT 化を検討されていた 豊資会グループ (福岡県古賀市) に採用されました。

【背景】

高齢化が急速に進む日本では要介護者が増加する一方で、介護業務に携わる方々の人材不足や負担増大等が深刻な問題になっています。事業所、家庭を問わず介護の現場ではこの問題を解決するための IT 化が検討され、介護を受ける方に負担をかけない環境づくりやシステムの構築が進められています。

本サービスは、Z-Works の非接触型センサーを活用し要介護者の行動やバイタルデータに加え室内温度等もセンサーで検知し介護者に通知する機能を備えたサービスです。介護者が適時に業務対応することで、要介護者の離床や徘徊の防止、症状の重篤化防止に繋がるとともに、業務の効率化が実現します。

【サービス概要】



【今後の展開】

当社は 中期経営計画 (2017年4月から2020年3月) において、ヘルスケアを重点事業の一つと定め「地域包括ケア・介護領域でのプレゼンス確立」、「AI/IoTを使った新規ヘルスケアサービス」に取り組み、同事業の2019年度売上高140億円規模への成長を目指しています。医療と介護の質の向上に貢献するため、これまで培った技術を活かすとともに関係先と共創し価値あるサービスを提供していきます。

以上

<報道関係のお問い合わせ> 広報・IR室 03-6866-3160 pr@infocom.co.jp

<事業関係のお問い合わせ> 地域包括ケア推進部 03-6866-3390 care@infocom.co.jp

※本資料に記載された会社名、サービス名及び製品名等は該当する各社の登録商標または出願中の商標です。